

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 3月 10日

事業所名

児童デイサービス 十彩

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		適切なスペースを確保できている。	
	②	職員の配置数は適切である	○		利用人数に合わせて職員を配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		設備が必要になった場合は増設を検討する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日清掃を行いチェックリストをつけている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		6ヶ月以内にモニタリングを職員で行いPDCAサイクルを行っています。	今後も継続し業務改善に努める。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者に評価を行って頂いている。	職員で検討を行い改善につなげている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		保護者に評価表の実施し、ホームページに公表する。	保護者からの意見を踏まえ検討し改善につなげていきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在コロナ感染予防の為実施していないが今後外部評価の実施を検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月研修を行い記録に残している。	今後も継続を行う。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		毎月職員とカンファレンスを開くことでニーズを明確化している。	今後も継続を行う。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		社内統一した書式を使用している。	今後も継続を行う。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者のニーズ、相談事業所の計画書に沿って児童発達支援計画書を作成を行っている。	今後も保護者のニーズ、相談事業所の計画書に沿って作成するも、具体的な支援内容を今以上に設定していく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		毎月カンファレンスを実施することで支援内容を見直し、軌道修正をおこなっている。	児童利用日に支援内容の確認が出来るよう改善を行う。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員で話し合いのもと立案を行っている。	今後も継続を行う。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動内容を変えて対応を行っている。	活動に変化を持たせたプログラムを作成し、実施している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		児童、保護者様にニーズや児童の状況を面談にて聞き取りしその児童に合った計画を作成している。	日々の児童の状況に応じて個別活動、集団活動に変化を持たせている。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝の朝礼を行い、その日の活動の内容を周知している	利用児童によって支援内容の確認を継続していく。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後に行えない場合はノートで共有している。	今後も支援内容、児童の様子をカンファレンス、モニタリングの際に情報の共有を行い支援につなげていく。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		児童に大きな変化が見られた際は朝礼にて情報を共有することで支援を改善している。	細かな様子が記録に記載出来るよう行う。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に1度のモニタリングで行っている。	今後も継続を行う。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者若しくは児童発達支援管理責任者が出席している。	今後も継続を行う。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		相談所が仲介に入り連携は取れている。	今後も継続を行う。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			受け入れ予定があった際には連携を図る。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			受け入れ予定があった際には連携を図る。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		定期的ではないが、必要に応じて情報共有は行っている。	今後も継続を行う。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		学校との情報共有は必要時に行うことができます。	今後も継続を行い変化がある際には密に情報共有を行っていく。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		子供部会で情報の共有、研修が行われ参加している。	今後も継続を行う。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			コロナ感染予防の観点から予定はないが、交流できるように地域の保育園などに声掛けを行う。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		子供部会に出席している。	コロナ感染予防の観点から予定はないが、交流できるように町内会に声掛けを行う。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際に保護者と情報を共有している。	家庭訪問を行い支援に関して聞き取り、方向性を決めていくために実施している。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○			家庭訪問を行い、保護者の話を聞くことで気持ちを受け止め児童との関係性を見直せるように配慮する。	
		㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際の行っています。	今後も継続を行う。
		㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約後、利用前には行っています。	今後も継続を行う。

保護者との説明責任等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎の際に保護者と情報を共有し必要であれば相談等の支援を行っている。	今後も継続を行う。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			今後は希望者が多ければ検討していきます。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に行っている。	迅速に対応することができているので今後も相談を適宜受け付ける。その為にも児童や保護者様との信頼関係を築いていく。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月会報を発行し活動内容や行事について情報を発信している。多彩な行事を実施している。	今後も継続を行う。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		カギがついている書庫に保管している。	今後も継続を行う。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		送迎の際に本日の児童の様子を保護者様に伝えることで情報を共有している。	意思疎通を図るために保護者とは送迎時以外ではメール、電話等で配慮している。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			コロナ感染予防の為、入念に対策や案を出し実施を検討する。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルがあり定期的に研修を行っています。	緊急時対応については地震、火災を想定した訓練を行っている。今後も継続していく。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の避難訓練を行っている。	今後も継続を行う。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約の際に確認を行い予防接種に関しては行った際に伝えて頂いている。	今後も継続を行う。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーが強い児童にはかかりつけ医に指示を受けている。	今後も継続を行い変化がある際には密に情報共有を行っている。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			定期的な研修、会議にて案件があれば行うようにし記録にも明記する。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を行っている。	今後も継続を行う。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			前例がなかったので今後あった場合は児童や保護者様に事前に説明し、理解を得たうえで支援をおこなう。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。